

平成 30 年 6 月 13 日現在

機関番号：12501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02404

研究課題名(和文) 現代ロシア文化における文学と視覚芸術の相互的影響の解明

研究課題名(英文) Relationships between Literature and Visual Arts in Contemporary Russian Culture

研究代表者

鴻野 わか菜 (KONO, WAKANA)

千葉大学・大学院人文科学研究院・准教授

研究者番号：50359593

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、ロシア近現代文化における文学と視覚芸術について検討した。ロシアの芸術家、作家(イリヤ・カバコフ、アレクサンドル・ポノマリョフ、ニキータ・アレクセーエフ、アンドレイ・ベールイ)の作品、ロシア現代美術と現代文学におけるジェンダーとセクシュアリティ、南極ビエンナーレ等について論文を刊行した。また、本研究の成果として、日本、ロシアで、レクチャー、セミナー、展覧会が開催された。

研究成果の概要(英文)：A subject of this research is mutual influences between literature and visual arts in Russian modern and contemporary culture. I published studies on Russian artists and writers (Ilya Kabakov, Alexander Ponomarev, Nikita Alexeev, Andrey Bely), gender and sexuality in Russian contemporary art and literature, Antarctic Biennale. As results of this research lectures, seminars and an exhibition were organized in Japan and Russia.

研究分野：ロシア文学・ロシア美術・ロシア文化

キーワード：ロシア文学 ロシア文化 ロシア美術 現代文化

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は、20世紀ロシア文学・美術を専門とし、本研究開始以前は、「20世紀初頭ロシア象徴主義文学と美術との相関関係」、「ソ連時代の公認文化と非公認文化の関係」、ロシアの絵本研究（及び日本における受容）、ロシアの現代詩と現代美術等を主な研究テーマとしてきた。

文学と美術の相関関係、公認文化と非公認文化の関係、ロシア絵本の文化史における位置づけ等は、研究が十分に進んでいない分野であり、また、ロシアの現代文化（現代詩、現代美術）の日本での研究・紹介も進んでいるとは言い難い状況であった。

2. 研究の目的

上記の学問的な状況をふまえ、本研究では、絵本、アーティストブック、現代文学と現代美術の融合を、相互に連携する文化運動として捉えること、比較文化・複合文化的な視点から現代ロシア文学と文化を横断的に理解する視点を構築し、さらに、研究成果を社会に還元することを目的とした。

具体的には、大きく分けて以下の目的のもとに本研究は進められた。

(1) テクストと視覚芸術が融合する品を制作する作家（アレクサンドル・ポノマリョフ、ニキータ、アレクセーエフ、イリヤ・カバコフ）らの作品、及び活動（ポノマリョフ主宰南極ピエンナーレ）についての専門的研究による学術界への寄与。

国際学会での発表、外国語・日本語論文の発表。

(2) 上記の研究成果の社会への還元。

研究成果をふまえた公開レクチャー、セミナーの開催、シンポジウムへの参加。国際共同研究のために来日したロシア人作家・研究者らによる公開レクチャー、セミナーの開催。

日本の地方自治体が開催する国際芸術祭へのロシア現代美術・文化研究者としての協力。

学生、若手研究者と共にアクティブ・ラーニングの試みとして大学で開催したロシア現代美術展、および展覧会の冊子の刊行等による教育的効果。

3. 研究の方法

(1) ロシア文学・美術に関する資料の調査と分析、研究（ガレージ現代美術館古文書館、レオニート・チシコフらの作家アーカイブ等）、及び作品調査。

(2) 作家へのインタビュー。ロシア文学・美術専門家との共同討議（国立ロシア人文大学、国立ウラル連邦大学）。

(3) 論文の出版、学会発表。それに基づく再討議。セミナーでの意見交換。今後の課題検討。

4. 研究成果

20世紀ロシア文学・美術の相関性、ジャンル越境的な作品を分析した雑誌論文（書評等含む）15点、学会発表（シンポジウム等含む）8件、図書（いずれも共著）3点を発表した。

2017年12月にウラル連邦大学（ロシア、エカテリンプルク）、2018年1月に国立トレチャコフ美術館（ロシア、モスクワ）で、南極ピエンナーレ等についての専門的な講演を行い、ウラル連邦大学では美術史研究者タマラ・ガレーエワ博士らと共に、また1月のトレチャコフ美術館のシンポジウムでは、ロシア、フランス、オーストリア、スペイン等の美術研究者、科学者と共に共同討議を行い、国際的な研究ネットワークを構築した。

2017年8-9月には、ガレージ現代美術館（ロシア、モスクワ）で、ロシアの美術コレクターでアーカイブ作成者であるレオニート・ターロチキンのアーカイブ調査を進め、ターロチキンの書簡と日記の分析を進めた。

ロシアの現代アーティスト、ニキータ・アレクセーエフのテキストと視覚芸術の研究を進め、2017年6月には、作家の協力を得て、作家の新作の展示を千葉大学附属図書館で行った。展覧会開催時には、研究の成果を学生のテキストと共に小冊子として刊行し、公開講演会を開催した。

また、本研究に伴う国際交流、国際共同研究に付随する成果として、以下の公開レクチャーを企画した。

・企画・司会・通訳 千葉大学文学部・公開レクチャー「アレクサンドル・ポノマリョフ講演会 南極ピエンナーレ 科学と芸術の調和を求めて」2018年2月23日（千葉大学）

・企画・司会 千葉大学文学部・公開レクチャー「エヴゲーニー・ウジーニン博士 ブドウとワインの国モルドワ」2017年12月21日（千葉大学）

・企画・司会 千葉大学文学部・公開レクチャー「アレクサンドル・メシエリヤコフ教授講演会 柳田国男の使命：生前と死後」2017年11月9日（千葉大学）

・企画・司会・通訳 千葉大学文学部・公開

レクチャー「ロシア現代アーティスト レオニート・チシコフ 月の歩み 美術と絵本を語る」2017年4月12日(千葉大学)

・企画・司会 千葉大学文学部・公開教養講座「タマラ・ガレーエワ博士 ロシア、エカチェリブルクの現代美術—伝統からストリート・アートまで」2017年1月12日(千葉大学)

・企画・司会・通訳 千葉大学文学部・公開レクチャー「タマラ・ガレーエワ博士 20世紀初頭ロシア美術における音楽という主題とイメージ」2017年1月11日(千葉大学)

・企画・司会 千葉大学文学部・公開レクチャー「アレクサンドル・メシエリヤコフ教授 講演会 日本文化における海という空間」2016年11月10日(千葉大学)

・企画・司会・通訳 「アレクサンドル・ポノマリョフ講演会南極ビエンナーレについて—誰の土地でもない場所でのビエンナーレ」2016年10月12日(クラブヒルサイドサロン)

・企画・司会 千葉大学・男女共同参画推進部門・文学部・公開レクチャー「アンナ・パーニナ博士 映画の翻訳を語る」2016年2月17日(千葉大学アカデミック・リンク・センター)

・企画・司会 千葉大学文学部・公開教養講座「ロシア文学への誘い」2015年8月3日(千葉大学アカデミック・リンク・センター)

また、以下の国際大会、国際芸術祭に、ロシア文化専門家として協力した。

- ・2017年 北アルプス国際芸術祭
- ・2017年 奥能登国際芸術祭
- ・2016年 瀬戸内国際芸術祭
- ・2016年 〈いちほらアート×ミックス〉
- ・2015年 ICCEES IX World Congress 2015 in Makuhari (第9回国際東欧・中欧研究協議会幕張世界大会) 実行委員

なお、本研究をはじめとする国際共同研究を契機として、2016年1月に国立ロシア人文学に千葉大学日本センターが設置され、2017年12月に千葉大学とウラル連邦大学間で交流協定が締結された。いずれも、日露の学生、院生、若手研究者の教育、交流、研究のための場として機能している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計15件)

1. 鴻野わか菜「ニコライ・ミレシキン詩集」『文化交流研究』千葉大学大学院人文公共学府研究プロジェクト報告書第336集、石井正人編(千葉大学大学院人文公共学府、2018年)13-242頁。(査読無)

2. 鴻野わか菜「ロシアのアーティスト・コレクティブ」『美術手帖』2018年4-5月号、2018年、102-105頁。(査読無)

3. 鴻野わか菜「展覧会の記録 ニキータ・アレクセーエフ 岸辺の夜 展」『人文研究』47号(千葉大学文学部、2018年)251-259頁。(査読無)

4. 鴻野わか菜「ロシア歌曲を読む アンドレイ・ベールイ」『日本アレンスキー協会会報』14号(日本アレンスキー協会、2018年)6-7頁。(査読無)

5. 鴻野わか菜「ロシア現代美術におけるフェミニズムとLGBT」『美術手帖』2017年11月号、2017年、110-113頁。(査読無)

6. 鴻野わか菜「モスクワ国際現代美術ビエンナーレ 新たな生態系を示す Clouds Forests」『美術手帖』2017年11月号(美術出版社、2017年)142-143頁。(査読無)

7. 鴻野わか菜「舞台は南極。「第1回南極ビエンナーレ」で問い直す人類と芸術の関わり」WEB版『美術手帖』2017年(査読無)

8. 鴻野わか菜「ニキータ・アレクセーエフ」日本についての書簡」『翻訳・翻案・伝承—文化接触と交流の総合研究(2)』人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書、石井正人編(千葉大学大学院人文社会科学研究科、2017年)30-37頁。(査読無)

9. 鴻野わか菜「アレクサンドル・ポノマリョフの詩「陽光降りそそぐ極圏の終わらない昼」と南極ビエンナーレ」『生存と共生—人文学の現在(2)』人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書 No.314、鴻野わか菜編(千葉大学大学院人文社会科学研究科、2017年)118-127頁。(査読無)

10. 鴻野わか菜「南極ビエンナーレ コミッショナーに聞く」『BT美術手帖』Vol.69, No.1048, 2017年1月号(美術出版社、2017年)186-187頁。(査読無)

11. 鴻野わか菜 書評「沼野充義『チェーホフ—七分の絶望と三分の希望』『れにくさ』

No. 7 (東京大学現代文芸論研究室, 2017年)
130-132頁。(査読無)

12. 鴻野わか菜「ニキータ・アレクセーエフ
テーブルクロス、野菜、プーチンの女性の
化身 展」『生存と共生—人文学の現在』人文
社会科学研究所研究プロジェクト報告書
No.304、鴻野わか菜編(千葉大学大学院人文
社会科学研究所、2016年)107-109頁。(査
読無)

13. 鴻野わか菜「空と海の間で—アレクサ
ンドル・ポノマリヨフ」『翻訳・翻案・伝承
—文化接触と交流の総合研究』人文社会科学
研究所研究プロジェクト報告書 No.299、石
井正人編(千葉大学大学院人文社会科学研究所
科、2016年)37-55頁。(査読無)

14. 鴻野わか菜「イリヤ&エミリア・カバコ
フ《棚田》と《人生のアーチ》—トータル・
インスタレーションとノとしてのパブリッ
ク・プロジェクト」『NACT Review 国立新美
術館研究紀要』No.2(国立新美術館、2016年)
48-61頁。(査読付)

15. Wakana KONO. Художественное
пространство в «Москве» Андрея Белого //
Диалог согласия: сборник научных статей к
70-летию В. И. Тютю. Москва: Ingrad, 2015.
С.109-119

鴻野わか菜(「アンドレイ・ペールイ『モス
クワ』における空間」『同意の対話—V.I.チ
ューバ教授70歳記念論集』モスクワ Ingrad
出版社、С.109-119。)(査読無)

〔学会発表〕(計8件)

1. 鴻野わか菜「ロシアと南極のアートプロ
ジェクト」感動創造研究所主催フォーラ
ム「アートプロジェクトと感動」2018年2月
28日(渋谷ヒカリエ)

2. Wakana KONO. Значение и роль
Антарктической биеннале в истории
искусства и культуры (鴻野わか菜「芸術
史・文化史における南極ビエンナーレの意
義」)
Antarctic Biennale Vision Club (ABVC) Open
Meeting ANTARCTIC BIENNALE AS A
SOCIOCULTURAL PHENOMENON(招待講
演)(国際学会) 2018年1月20日(トレチャ
コフ美術館)

3. Wakana KONO. Путешествия. Искусство.
Коммуникации. Японские триеннале и
Антарктический биеннале (鴻野わか菜
「旅・芸術・コミュニケーション 日本のトリ
エンナーレと南極ビエンナーレ」)特別講義、
2017年12月5日(ウラル連邦大学)

4. 鴻野わか菜 千葉大学あかりんアワー「南
極で美術は可能か? 第1回南極ビエンナー
レに参加して」2017年6月20日(千葉大学)

5. 鴻野わか菜 千葉大学文学部・公開レク
チャー「ニキータ・アレクセーエフの芸術とロ
シア現代芸術」2017年6月14日(千葉大学)

6. Wakana KONO. Japanese Art Triennale:
Works and Visions. (鴻野わか菜「日本のトリ
エンナーレ—作品とヴィジョン」)
1st Antarctic Biennale. (第1回南極トリエン
ナーレ). 2017年3月18日(南極、研究船セル
ゲイ・ヴァヴィロフ号)

7. Wakana KONO. East and West in Andrei
Bely's Novels 'Silver Dove', 'Petersburg' and
'Moscow'. (鴻野わか菜「アンドレイ・ペ
ールイ『銀の鳩』、『ペテルブルク』、『モスクワ』
における東と西」) ICCEES IX World Congress
2015 in Makuhari (第9回国際東欧・中欧研究
協議会幕張世界大会). 2015年8月6日(神
田外国語大学)

8. 鴻野わか菜 講演「ロシア現代美術への誘
い」日本ロシア・東欧研究連絡協議会・国際
中欧・東欧研究協議会幕張世界大会組織委員
会主催《ユーラシア世界を知るための市民教
養講座》2015年6月20日(千葉商工会議所)

〔図書〕(計3件)

1. Wakana KONO. From A Diary in Antarctica.
Antarctic Biennale Vision Club. Antarctic
Biennale, 2017. P.19-24.

2. Wakana KONO. Antarctic Biennale. *Antarctic
Biennale Pocket Book*. Antarctic Biennale, 2017.
P.116-117.

3. 鴻野わか菜編著『ニキータ・アレクセーエ
フ 岸辺の夜 展』(千葉大学、2017年)総
36頁。

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

○取得状況(計0件)

〔その他〕

ホームページ等

1. 鴻野わか菜 「舞台は南極。「第1回南極
ビエンナーレ」で問い直す人類と芸術の関
わり」WEB版『美術手帖』2017年
<https://bijutsutecho.com/insight/3551/>

2. Память, смерть, мимолетность (ロシアの新聞による研究紹介)

http://www.ng.ru/ng_exlibris/2017-09-14/10_903_kono.html

6 . 研究組織

(1)研究代表者

鴻野 わか菜 (KONO, Wakana)

千葉大学・人文科学研究院・准教授

研究者番号：50359593